

環境経営レポート

活動期間（2022年4月1日～2023年3月31日）

目次

環境経営方針と環境経営目標	-----	2
会社概要	-----	3～7
環境経営計画	-----	8
環境経営目標値	-----	9
環境経営計画の取組結果	-----	10～12
環境関連法規の遵守状況	-----	13～15
環境上の緊急事態（火災）対応訓練記録	-----	16～24
地域貢献活動記録	-----	25～35
環境コミュニケーション記録	-----	36
浄化槽点検検査記録	-----	37～38
フロン排出抑制法に基づく点検記録	-----	39
産業廃棄物契約書先 実地確認対応状況一覧	-----	40
埼玉県SDGsパートナー登録	-----	41～42
「緑の募金」への参加	-----	43
圧縮梱包機用コンベア侵入検知システムの導入	-----	44
屋根断熱塗装の実施	-----	45～46
代表者による全体の評価と見直し・指示	-----	47
総括	-----	48

むさし野紙業株式会社

2023年6月20日作成

環境経営方針

森林資源の保護と育成に寄与し、循環型社会形成の先駆けをいく古紙リサイクル業界に於いて、当社では、古紙(製紙原料)の仕入・選別・圧縮・梱包及び販売の事業拡大を目指すと同時に環境への影響を考慮し、負荷低減並びに汚染予防を図ります。

1. エコアクション21をベースにして、環境にやさしい経営システムの構築・運営に取り組みます。また、仕入から販売までの全業務において、環境関連の法令・条例等を遵守します。更に近隣地域、関連業界及び取引先等から寄せられる環境に関連した要請には真摯に対応し、環境経営活動の継続的改善に努めます。
2. 環境経営目標を設定し、目標達成のために環境経営活動計画を策定します。この環境経営活動計画は、必要に応じて見直すことにより、環境経営方針に整合した活動を続けていきます。
3. 全従業員に環境経営方針を周知します。そして、環境経営活動計画の進捗状況や環境経営目標の達成状況を、文書またはホームページなどを用いて全従業員及び近隣地域、関連業界、取引先等にも伝達します。

環境経営目標

当社の環境経営方針に則り、環境経営目標を以下の通り定めます。

- ◆ 地球温暖化防止の為に二酸化炭素排出量削減に努める。
 - ・ 電力使用量の削減
 - ・ ガソリン使用量の削減
 - ・ 軽油使用量の削減
 - ・ LPG 使用量の削減
- ◆ リサイクル活動の推進及び自然環境保護の為に廃棄物排出量削減に努める。
 - ・ 社内から発生するごみの徹底的な分別実施や発生源特定及び是正
- ◆ 水資源保全の為に水使用量削減に努める。
 - ・ 水資源の適正使用
- ◆ 上記3つの項目実施により会社経費削減に努める。

2019年4月1日 制定
むさし野紙業株式会社
代表取締役 安立博信

会 社 概 要

1. 会社名及び代表者氏名

むさし野紙業株式会社

代表取締役社長 安立博信

2. 設 立

平成2年（1990年）10月16日

3. 資本金

3,000万円

4. 所在地

本 社	埼玉県川越市大字下広谷 404 番地 1
川 越 営 業 所	埼玉県川越市大字下広谷 404 番地 1
ふじみ野営業所	埼玉県ふじみ野市亀久保 1613 番 2
和 光 営 業 所	埼玉県和光市新倉 7 丁目 5 番 24
新 木 場 営 業 所	東京都江東区新木場 2 丁目 4 番 3
北 多 摩 営 業 所	東京都調布市上石原 2 丁目 2 番 4
西 多 摩 営 業 所	東京都西多摩郡瑞穂町長岡 3 丁目 5 番 1
横 浜 営 業 所	神奈川県横浜市港北区高田西 1 丁目 7 番 13
厚 木 営 業 所	神奈川県厚木市岡田 3 丁目 4 番 14

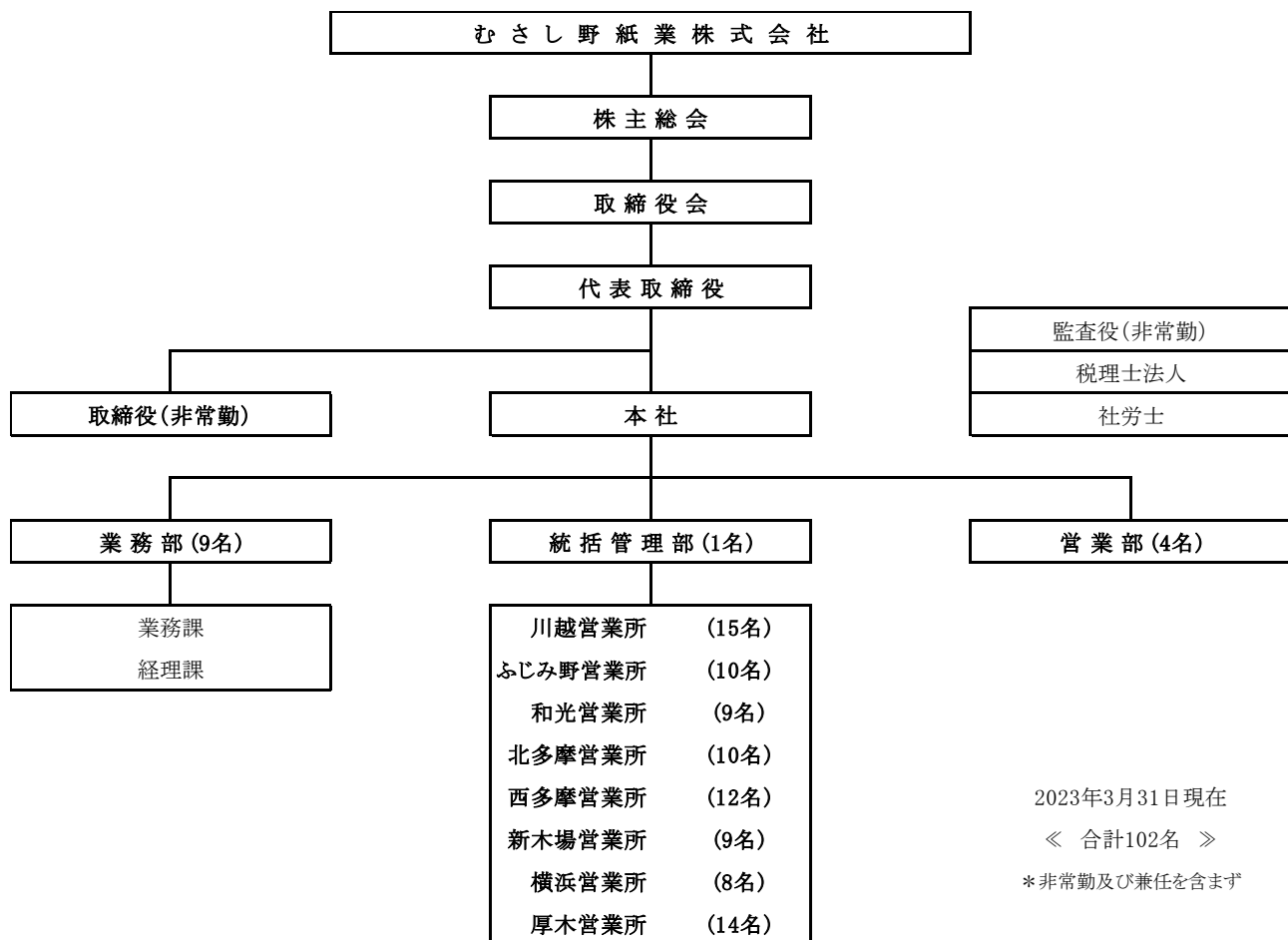
5. 会社経歴

1990年 10月	埼玉県入間郡大井町大字亀久保字大野原 1613-2 にて 資本金 30 百万円にて設立
1993年 11月	「計量証明事業登録証」取得（大井町営業所）
1994年 4月	「産業廃棄物収集運搬業」許可（大井町営業所）
1998年 6月	埼玉県川越市大字下広谷404-1にて川越営業所を開業 同時に本社機能を移転する。
12月	「計量証明事業登録証」取得（川越営業所） 「くず物取扱業」取得（大井町営業所、川越営業所）
1999年 1月	「廃棄物再生事業者登録」取得（川越営業所）
4月	「廃棄物再生事業者登録」取得（大井町営業所）
1990年 11月	神奈川県横浜市港北区高田西1-7-13にて横浜営業所を開業

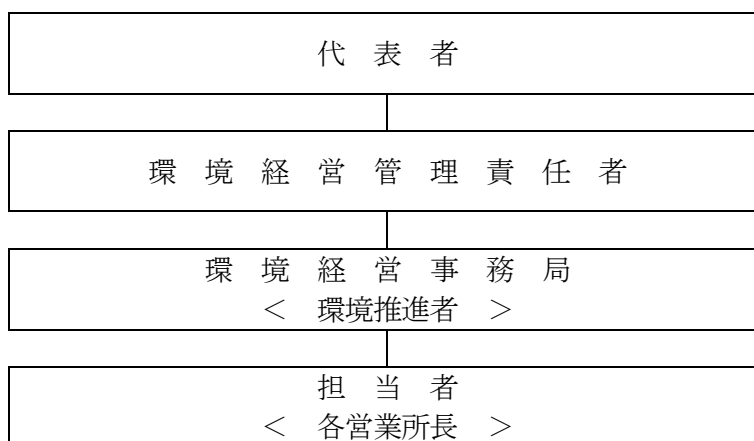
2000年	7月	「廃棄物再生事業者登録」取得（横浜営業所）
2003年	5月	定款に「リース業」を追加
	8月	東京都西多摩郡瑞穂町長岡3-5-1にて西多摩営業所を開業
2004年	8月	東京都調布市上石原2-2-4にて北多摩営業所を開業
2005年	8月	「廃棄物再生事業者登録」取得（西多摩営業所）
2006年	4月	市町村合併に伴い大井町営業所からふじみ野営業所に名称変更
2007年	11月	神奈川県厚木市岡田3-4-14にて厚木営業所を開業
2008年	3月	埼玉県和光市新倉7-5-24にて和光営業所を開業
2013年	1月	国際紙パルプ商事(株)と住商紙パルプ(株)の合併により、 国際紙パルプ商事(株)のグループ会社になる
2014年	4月	(株)コスモリサイクルセンターを合併し新木場営業所に名称変更

6. 組織図並びに実施体制・各者の役割

組織図



環境経営実施体制



* 認証対象範囲 : 全事業所・全事業活動

* 認証番号 : 0011407

各担当者の役割及び責任

代表者

- ・ エコアクション21に関する代表責任者
- ・ 環境経営目標及び環境経営計画の実施に必要な資源を用意する
- ・ 環境経営管理責任者を任命する
- ・ 定期的に全体の取組状況を検証して改善及び環境経営方針の見直しの指示をする

環境経営管理責任者

- ・ 環境経営システムの構築、実施及び運営管理を行う実務上の責任者
- ・ 環境経営事務局の文書作成案に対する検証及び改善を指示する

環境経営事務局

- ・ 環境経営目標及び環境経営行動計画案を作成する
- ・ 環境経営レポートを作成、公表する
- ・ 環境負荷の実績、取りまとめを環境経営推進者に指示し、各部門の集計を行う
- ・ 活動実績および取組状況等を環境経営管理責任者に報告する
- ・ 社員に対する教育訓練等を実施する

担当者

- ・ 環境負荷の実績を記録して環境経営推進者に報告する
- ・ 環境経営計画に基づき従業員を指導する
- ・ 役割に対して積極的な活動をする

7. 事業活動の概要

古紙の集荷・選別・加工及び販売

8. 許可・登録の内容

・産業廃棄物収集運搬業許可

東京都（13-00-012622） ・ 埼玉県（01100012622）

< 許可品目一覧 >

都道府県	許可番号	許可年月日	許可期限	紙屑	木屑	繊維屑	廃プラ	ゴム屑	金属屑	ガラス	コンクリート	陶磁器屑	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ばいじん	動物性残さ
東京都	13-00-012622	2020/1/9	2025/1/8	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
埼玉県	01100012622	2019/4/15	2024/4/14	○															

・古紙商品化適格事業所

川越営業所（C-01-116-04） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 ふじみ野営業所（C-01-116-05） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 和光営業所（C-01-116-06） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 新木場営業所（C-01-116-01） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 北多摩営業所（C-01-116-03） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 西多摩営業所（C-01-116-02） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 横浜営業所（C-01-116-07） < 有効期限：令和8年3月31日 >
 厚木営業所（C-01-116-08） < 有効期限：令和8年3月31日 >

・廃棄物再生事業者登録

川越営業所（埼玉県 II-13） < 登録日：平成11年1月27日 >
 ふじみ野営業所（埼玉県 II-14） < 登録日：平成11年4月23日 >
 西多摩営業所（東京都 第1014号） < 登録日：平成17年8月15日 >
 新木場営業所（東京都 第330号） < 登録日：平成22年5月20日 >
 横浜営業所（神奈川県 第G00126号） < 登録日：平成12年7月4日 >

・計量証明事業登録 【区分：質量】

川越営業所（埼玉県 第279号） < 登録日：平成10年12月16日 >
 ふじみ野営業所（埼玉県 第247号） < 登録日：平成5年11月1日 >
 厚木営業所（神奈川県 第466号） < 登録日：平成20年4月7日 >

・再生資源回収事業者

埼玉県川越市（第N11K-00450号） < 有効期限：令和6年4月21日 >
 埼玉県ふじみ野市（第N11K-00451号） < 有効期限：令和6年4月21日 >

・埼玉県SDGsパートナー（第478号） < 有効期限：令和7年3月30日 >

9. 事業規模

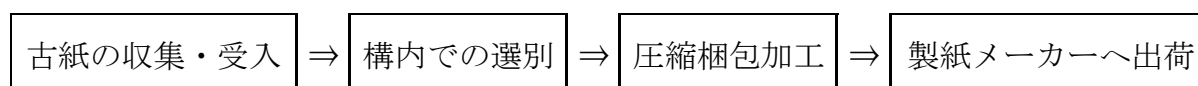
活動規模	単位	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
売上高	万円	289,486	249,937	190,477	221,886	275,221	251,656
取扱量	t	154,621	148,063	135,218	138,433	132,976	124,139
従業員数	人	102	102	97	95	97	102
延べ床面積	m ²	146,670	146,670	146,670	146,670	146,670	146,670

※ 従業員数には非常勤者を含まず

10. 保有設備及び車両・重機

2023/3/31時点	本社 川越営業所	ふじみ野営業所	横浜営業所	西多摩営業所	北多摩営業所	厚木営業所	和光営業所	新木場営業所	合計
敷地 (㎡)	3,560	1,987	1,333	1,643	990	2,287	990	1,880	14,670
圧縮梱包機 (150馬力)	1	1	1	1	1	1	1	1	8
選別機	1	1	1	1	0	1	1	0	6
台貫	1	1	1	1	1	1	1	2	9
乗用車	8	1	0	1	1	1	1	0	13
軽自動車	0	0	0	0	0	0	0	1	1
塵芥車	8	3	2	5	4	10	4	3	39
平ボディーク	2	2	0	0	1	1	2	4	12
ダンプ車	0	1	1	1	1	1	0	0	5
箱車	3	0	0	0	0	0	0	0	3
フルトレーラー	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ショベルローダー	1	1	1	1	1	1	1	1	8
フォークリフト	5	4	2	3	2	4	3	4	27

11. 業務（古紙処理）フロー



環境経営計画

目標	区分	項目	活動内容	対象部門
二酸化炭素 排出量削減	電力使用	照明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰社時消灯の徹底 ・ 不要照明の消灯 	全員
		空調	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室温管理（夏期 28℃、冬期 20℃） ・ 不使用部屋の空調停止 	全員
		場内作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不使用時のベレー電源 OFF 	各営業所 現場作業員
	ガソリン 軽油 GTL LPG	車両	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの実施 ・ アイドリングストップの実施 ・ 日常、定期点検の実施 ・ 不要な荷物を積載しない ・ 適正ルートでの運行 	各車両 運転者
		重機	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップの実施 	各重機 操作者
	LPG	事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節約の心掛け（給湯器・コンロ） 	全員
廃棄物管理	廃棄物	事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別による再資源化の推奨 ・ マニフェストの適正管理 ・ 各種契約書などの締結 	本社 各事務所
		場内作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選別作業徹底による製品品質向上 ・ 再資源化によるごみ排出の削減 	各営業所
水道使用量 削減	水道水	事務所 場内現場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正使用励行の徹底 	全員
環境経営目標に 則る経費の削減	全て	全て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正使用励行の徹底 	全員

【補足事項】

※ 全ての活動は安全と健康を最優先し、経済性及び効率性を考慮し実施する。

環境経営目標値

項目	単位	2021年度 環境実績	2022年度 環境目標	2023年度 環境目標	2024年度 環境目標
二酸化炭素排出量	kg - CO2	1,412,599.53	1,398,473.53	1,384,347.54	1,370,221.54
購入電力	kWh	867,842.00	859,163.58	850,485.16	841,806.74
ガソリン	ℓ	13,888.10	13,749.22	13,610.34	13,471.46
軽油	ℓ	309,380.63	306,286.82	303,193.02	300,099.21
GTL	ℓ	32,775.20	32,447.45	32,119.70	31,791.94
LPG（重機用）	Kg	3,196.00	3,164.04	3,132.08	3,100.12
LPG（事務所用）	Kg	189.90	188.00	186.10	184.20
一般廃棄物	Kg	注1	注1	注1	注1
産業廃棄物	Kg	注1	注1	注1	注1
水道	m ³	1,973.00	1953.27	1933.54	1913.81

【補足事項】

- ※ 電力は機械設備入替やLED照明への入替により21年実績より毎年1%削減を目指す
- ※ 燃料関連は業務拡大並びに車両の増車予定はあるが21年実績より毎年1%削減を目指す
- ※ 2021年7月より順次、軽油を環境負荷が低いGTLに切り替えている
- ※ LPG使用量は21年実績より毎年1%削減を目指す
- ※ 水道使用量は21年実績より毎年1%削減を目指す
- ※ 但し、上記の各環境目標値は21年実績時と取扱重量及び収集・受入方法が同じであると仮定した場合である
 （現状、取扱重量及び古紙の収集・受入方法は関連会社との事業関係の影響を受ける場合がある。また、取扱重量を基準した原単位においても各業務フローに細かな商流が多岐に存在しその比率も毎月異なっている点や現状弊社の機関システムにおいて商流ごとの環境負荷を割り出すことが出来ない為、正しい比較が出来ていない）

【注1】

- ※ 一般廃棄物および産業廃棄物の環境目標に関して、各廃棄物は事業活動に伴い任意で発生するものであり自社が直接影響を与えられない為、数値目標は設定せずに適正な分別管理運用を行うこととする。

環境経営計画の取組結果

項目	単位	2022年度 環境目標	2022年度 実績	結果 (実績/目標)	評価	(参考) 2021年度実績
二酸化炭素排出量	kg - CO2	1,398,474	1,379,307	98.63%	○	1,412,599.53
購入電力 <排出係数> 0.612kg-co2/kWh 0.530kg-co2/kWh	kWh	859,164	832,194	96.86%	○	867,842
ガソリン	ℓ	13,749	12,892	93.77%	○	13,888
軽油	ℓ	306,286.82	274,174	89.52%	○	309,380.63
GTL	ℓ	32447.448	69,390	213.85%	×	32,775
LPG (重機用)	Kg	3,164.04	2,261	71.46%	○	3,196
LPG (事務所用)	Kg	188.001	170	90.58%	○	190
一般廃棄物	Kg	**	1,100	**	**	8,420
産業廃棄物	Kg	**	166,081	**	**	158,314
水道	m ³	1,953.27	1,825	93.43%	○	1,973.00
環境経営目標に 則る経費	円	**	74,865,178	**	**	63,836,714

【補足事項】

- ※ 結果とは2022年目標値に対する2022年実績値から算出
- ※ 新木場営業所以外の電力契約プランを2022年9月度より変更（排出係数：0.530kg-co2/kWh）
- ※ 新木場営業所の電力契約プランを2023年2月度より変更（排出係数：0.530kg-co2/kWh）
- ※ GTLは2021年7月から使用開始の為、初期基準値（2021年度実績）が低くなっている
- ※ 評価の『○』は結果値100%以下、『△』は101%から120%、『×』は121%以上である
- ※ 2022年度 産業廃棄物内訳
 - ・ 廃プラ他 146,530.0 kg
 - ・ 安定混合 11,449.0 kg
 - ・ 木くず 8,063.5 kg
 - ・ 非PCB金属（コンデンサ） 38.0 kg
 - ・ PCB金属（トランス） 11,025.0 kg

各目標に対する評価

目標	区分	項目	評価	コメント	次年度の取組
二酸化炭素排出量削減	電力使用	照明	問題無し	各自、認識の徹底が出来ている	継続実施
		空調	問題無し	各自、認識の徹底が出来ている	継続実施
		場内作業	問題無し	各自、認識の徹底が出来ている	継続実施
	ガソリン 軽油 GTL LPG	車両	指導徹底	各自の意識は向上 上長による監督作業にもより注視する	継続実施
		重機	問題無し	各自、認識の徹底が出来ている	継続実施
	LPG	事務所	指導徹底	安全衛生を優先した為、使用増加	継続実施
	総評	2022年度目標に対して約1.4%の削減 キュービクル入替（西多摩営業所） 圧縮梱包設備の入替（北多摩営業所） 事務所内LED照明切り替え（本社・川越営業所・和光営業所） 車両は旧型2台を処分、新型1台を導入 重機はガソリン仕様を4台処分、GTL仕様を1台、バッテリー仕様を5台導入 重機用燃料として軽油からGTLに切り替えの為、GTL使用量が増加 その反面、軽油使用量が減少			

* 事業活動（古紙の回収）による環境負荷の低減効果 *

項目	単位	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
取扱量	Kg	154,620,690.00	148,063,100.00	135,218,450.00	138,433,418.00	132,976,381.00
当社の二酸化炭素排出量	kg - CO2	1,379,307.00	1,412,599.53	1,347,352.52	1,437,800.00	1,599,085.00
環境負荷の軽減効果量	kg - CO2	29,237,226.27	27,997,251.58	25,568,456.71	26,176,374.99	25,144,503.88
当社の二酸化炭素排出量と環境負荷軽減効果量との差	kg - CO2	-27,857,919.27	-26,584,652.05	-24,221,104.19	-24,738,574.99	-23,545,418.88

* 環境省「3Rエコポイントシステムのためのガイドラインについて」の温室効果ガス削減効果表・リサイクル分類・環境負荷低減効果「古紙1kgにつき0.191kg-CO2」より換算

* 総取扱量に対する古紙類の比率は99%である

目標	区分	項目	評価	コメント	次年度の取組
廃棄物 管理	廃棄物	事務所	問題 無し	意識向上の為、削減及び適正管理実施	継続 実施
		場内 作業	問題 無し	意識向上の為、削減	継続 実施
	総評	一般廃棄物排出量削減 産業廃棄物は排出量増加 PCB含有金属（トランス）を適正処分			

目標	区分	項目	評価	コメント	次年度の取組
水使 用量 削減	水道水	事務所 場内 作業	指導 徹底	安全衛生を優先した為、使用増加 漏水点検により早期発見、即時、改善の実施	継続 実施
		総評	使用量は2022年度目標値から6.4%の減量		

目標	区分	項目	評価	コメント	次年度の取組
環境 経営 目標に 則る 経費の 削減	全て	全て	指導 徹底	各従業員に経費削減の重要性や 無駄な事をやめるという認識の定着	継続 実施
				総経費は2021年度実績から17%の増加 各従業員の認識向上や各種対応を実施しているが、取扱量の増量に伴う増加並び に物価高騰の影響がある	

環境関連法規の遵守状況

環境法規を含む事業推進における各種関連法令を遵守しその状況を確認し評価した結果、関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

2023年3月31日時点の関連法規確認並びに遵守状況確認とは以下の通りです。<「/」は該当なし>

法律名	条項	内容等	最新状況	遵守状況	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）					
排出事業者	保管	12条	種類、管理者名等を記載した掲示板	✓	✓
	契約	12条	収集業者と処分業者と個別に契約	✓	✓
			委託品目が許可されているか確認	✓	✓
	マニフェスト	12条の3	B2票、D票は90日以内、 E票は180日以内の戻り A票、B2票、D票及び E票の5年間保存 毎年6月30日までに前年度の交付状況を知事に提出（規則8の27）	✓	✓
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則（水銀廃棄物に関する制度について）					
排出事業者	保管、委託契約、マニフェスト等	8条、 8条の4の2、 8条の20	水銀使用製品産業廃棄物の適正処理について	✓	✓
下水道法					
	下水道使用開始	11条の2	使用開始届	✓	✓
		12条の3	特定施設の届出	✓	/
		12条の9	事故時の処置	✓	✓
浄化槽法					
	設置	5条	浄化槽の設置届	✓	✓
		7条	浄化槽設置後の外観検査・水質検査	✓	✓
		8～10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	✓	✓
	点検	10条	点検	✓	✓
	水質検査	11条	定期検査（年1回の法定検査の実施）	✓	✓
		11条の2	浄化槽の廃止届	✓	✓
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）					
管理者	管理者判断基準の遵守	16条	第一種特定製品の点検 （定格7.5KW～50kwの空調機器3年に1回以上）	✓	✓
	フロン漏洩報告	19条	フロン類算定漏えい量等の報告	✓	/
廃棄等実施者	引渡義務	41条	第一種特定製品の廃棄等実施者の引き渡し義務	✓	/
	設置有無の確認・説明	42条	特定解体工事元請業者の確定及び説明	✓	/
	委託確認書の保存	43条	第一種特定製品廃棄等実施者による書面の交付	✓	/
	保管	45条	引取証明書の保管	✓	/

法律名	条項	内容等	最新状況	遵守状況
消防法				
設備設置	8条	防火管理者の選任、室内消火栓、火災報知器の設置	✓	✓
危険物施設の届出	9条、10条	少量危険物の届出、危険物施設の設置届け出	✓	✓
消防活動阻害物質	9条の3	一定量以上の圧縮アセチレンガスを取り扱うものは、消防著長に届け出	✓	/
消防用設備	17条	消防用設備の点検・整備	✓	✓
PRTR法				
管理、届出	4条、5条	第一種指定化学物質の取り扱い、自主管理（SDSにて確認）	✓	/
高圧ガス保安法				
消費	24条の2	政令で定める高圧ガスについては、消費開始の20日前までに知事に届け出	✓	/
資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）				
判断基準	26条	特定資源化事業者の判断基準（パソコン、小型二次電池等）	✓	✓
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）				
廃棄物抑制	6条	廃家電を排出する事業者も引き渡し、廃棄物となることを抑制する	✓	✓
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）				
再商品化の促進	4条	容器包装の繰り返し利用、排出抑制、分別収集、再商品化の促進	✓	✓
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車NO_x・PM法）				
排出抑制	4条	自動車から排出される窒素酸化物・粒子状物質の排出抑制に努める	✓	✓
排出基準	12条	窒素酸化物排出基準等	✓	✓
排出抑制計画	33条	事業者による排出抑制計画の作成と報告	✓	/
実施状況報告	34条	排出抑制の実施状況を毎年知事に提出する	✓	/
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）				
引き渡し	8条	使用済みとなった自動車を引き取り業者に引き渡すこと	✓	✓
引き取り義務	9条	引き取り業者の引き取り義務	✓	✓
引き渡し義務	10条	引き渡し義務	✓	✓
登録、変更	42条、46条	引き取り業者登録、変更届	✓	✓
掲示	50条	引き取り事業者標識の掲示	✓	✓
預託	73条	リサイクル費用を資金管理法人に預託すること	✓	✓
定期点検整備	48条	定期点検整備の実施	✓	✓
整備記録簿	46条	点検整備記録簿を当該自動車に備え置きする	✓	✓

法律名	条項	内容等	最新状況	遵守状況
埼玉県生活環境保全条例				
基準の遵守	31条	粒子状排出物質基準の遵守	✓	✓
アイドリングストップ	40条	アイドリングストップの実施	✓	✓
購入者への説明	45条	自動車販売業者の購入者への説明等	✓	✓
灯油等の流出防止	110条	灯油等の流出又は浸透の防止	✓	✓
埼玉県地球温暖化対策推進条例				
購入者への説明等	25条	自動車販売業者の購入者への説明等	✓	✓
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例				
基準の遵守	37条	粒子状排出物質基準の遵守	✓	✓
アイドリングストップ	51条の2	アイドリングストップの実施	✓	✓
神奈川県生活環境の保全等に関する条例				
アイドリングストップ	94条	アイドリングストップの実施	✓	✓
基準の遵守	96条の3	粒子状排出物質基準の遵守	✓	✓
騒音規制法				
施設	6条、8条	特定施設の設置届、変更届	✓	/
	5条	規制基準値内（昼 65、朝夕 60）	✓	/
振動規制法				
施設	6条、8条	特定施設の設置届、変更届	✓	/
	5条	規制基準値内（昼 65、朝夕 60）	✓	/
悪臭防止法				
	7条	臭気は敷地境界線上で規制値以下（臭気指数 15 以内）	✓	/
防止措置	5条	化学物質等の調査及び健康障害防止措置	✓	/
（有機溶剤中毒予防規）		有機溶剤作業主任者の選任	✓	/
掲示・周知	10条	化学物質の掲示・備え付け、周知	✓	/
就業制限に係る業務	20条	政令で定める業務は次のとおりとする（ボイラー、フォークリフト等）	✓	✓
就業制限	61条	クレーン運転その他政令で定める業務は技能講習終了者のみ従事させる	✓	/
安全衛生規則				
技能講習の受講資格等	79条	法別表第 18 第 1 号から第 17 号まで及び第 28 号から第 35 号までに掲げる技能講習の受講資格	✓	✓
	別表第 6	はい作業主任者技能講習	✓	✓
省エネ法				
	7条、17条	エネルギー使用量 1,500k l 以上の場合の届け出	✓	/

環境上の緊急事態(火災)対応訓練記録

実施日時	2023年2月11日(土) 14時30分 から
実施場所	川越営業所
責任者	営業所 所長 野村 進
訓練内容	「環境上の緊急事態(火災)対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器及び消火栓の設置場所の確認 初期消火訓練として、消火栓にて放水訓練を実施
問題点	消火器及び消火栓の使用方法を知らない者がいる
再発防止策	社員全員が消火器及び消火栓を扱えるようにする
実施後の評価	水の圧力に対する学習が必要である
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態(火災)対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2023年2月13日(月曜日)

訓練実施写真



実施日時	2022年11月5日（金）16時から17時
実施場所	ふじみ野営業所
責任者	所長 松本 進也
訓練内容	「環境上の緊急事態（火災）対応手順書」に基づき対応手順の確認 予防事項として、消火器設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認・実演実施 消防ポンプを新規購入した為、使用方法の確認と実際に放水を実施
問題点	消防ポンプの始動方法を知らない所員がいる
再発防止策	営業所所員全員が消防ポンプを扱えるようにする
実施後の評価	該当設備点検は既存定期点検以外でも自主的に適時実施する
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態（火災）対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年11月5日（土曜日）

訓練実施写真



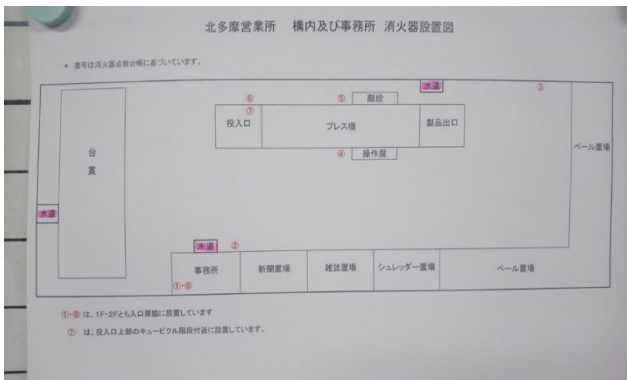
実施日時	2022年6月23日(木) から 2022年6月24日(金) 順次実施
実施場所	和光営業所
責任者	所長 吉村 哲
訓練内容	「環境上の緊急事態(火災)対応手順書」に基づき実施 消火器設置場所の確認(消火器配置図掲示) 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認 119番通報及び社内への報告方法の確認 避難場所の確認
問題点	消火器の使用方法が不明な者がいる
再発防止策	営業所所員全員が消火器を扱えるようにする
実施後の評価	該当設備点検は既存定期点検以外でも自主的に適時実施する
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態(火災)対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年6月27日(月曜日)

訓練実施写真



実施日時	2022年9月14日（水）
実施場所	北多摩営業所
責任者	所長 佐々木 謙一
訓練内容	「環境上の緊急事態（火災）対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認 119番通報及び社内への報告方法の確認 構内水道設備場所の確認
問題点	消火で使用できる構内奥の水道蛇口を知らない職員がいた。
再発防止策	事務所1F・2Fに掲示している消火器置場配置図に水道を追加記入
実施後の評価	該当設備点検は自主的に適時実施を行い、配置置場付近は整理を行う
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態（火災）対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年9月14日（水曜日）

訓練実施写真



実施日時	2022年7月27日（水）13時から14時 2022年7月28日（木）14時から15時
実施場所	西多摩営業所
責任者	所長 吉村 哲
訓練内容	「環境上の緊急事態（火災）対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認 119番通報及び本社への報告方法の確認 避難場所の確認
問題点	消火器の使用方法が曖昧な者がいる
再発防止策	営業所所員全員が消火器を扱えるようにする
実施後の評価	該当設備点検は既存定期点検以外でも自主的に適時実施する
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態（火災）対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年7月29日（金曜日）

訓練実施写真



実施日時	2022年12月3日(金) から 2021年12月5日(月) 順次実施
実施場所	新木場営業所
責任者	所長 佐々木 和俊
訓練内容	「環境上の緊急事態(火災)対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認 119番通報及び社内への報告方法の確認 避難場所の確認
問題点	消火器の設置場所を知らない者が多数いた
再発防止策	設置場所の再確認と目視確認
実施後の評価	設置場所の確認後、所員全員の防災意識が高まった
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態(火災)対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年12月20日(火曜日)

訓練実施写真



実施日時	2022年11月17日(木) 実施
実施場所	厚木営業所
責任者	所長 柳川 哲也
訓練内容	「環境上の緊急事態(火災)対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認 119番通報及び社内への報告方法の確認 避難場所の確認
問題点	消火器の使用方法を知らない者がいる
再発防止策	所員全員が消火器を扱えるようにする
実施後の評価	該当設備点検は既存定期点検以外でも自主的に適時実施する
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態(火災)対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年11月17日(木曜日)

訓練実施写真



実施日時	2022年11月29日(火)
実施場所	横浜営業所
責任者	所長 高橋 宏明
訓練内容	「環境上の緊急事態(火災)対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認 119番通報及び社内への報告方法の確認 避難場所の確認
問題点	消火器の使用方法を知らない者がいる
再発防止策	社員全員が消火器を扱えるようにする
実施後の評価	該当設備点検は既存定期点検以外でも自主的に適時実施する
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態(火災)対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年11月30日(水曜日)

訓練実施写真



実施日時	2022年12月9日(金) 13時 から 15時
実施場所	本社
責任者	統括管理部 眞島 茂次
訓練内容	「環境上の緊急事態(火災)対応手順書」に基づき実施 予防事項として、消火器及び消火栓の設置場所の確認 初期消火訓練として、訓練用消火器にて取扱方法の確認(指導:金子防災設備㈱) 初期消火訓練として、消火栓にて放水訓練を実施(指導:金子防災設備㈱) 119番通報及び社内への報告方法の確認 避難場所の確認
問題点	消火器及び消火栓の使用方法を知らない者がいる
再発防止策	社員全員が消火器及び消火栓を扱えるようにする
実施後の評価	該当設備点検は既存定期点検以外でも自主的に適時実施する
手順書改定	必要性 : なし 該当手順書名 : 環境上の緊急事態(火災)対応手順書 主な改定内容 : なし
記録日	2022年12月10日(土曜日)

訓練実施写真



地域貢献活動記録

- ◆ 該当営業所 川越営業所
- ◆ 実施日 2022年11月28日(土曜日)
- ◆ 実施場所 鶴ヶ島市立栄小学校 周辺
- ◆ 活動内容 集団回収で集めた古紙を収集する
- ◆ 活動結果 段ボール:810kg ・ 新聞:390kg ・ 雑誌:560kg ・ 牛乳パック:40kg
- ◆ コメント コロナの影響で年末古紙が減っているのなるべく早く落ち着いてほしい



- ◆ 該当営業所 ふじみ野営業所
- ◆ 実施日 2022年10月29日（土曜日）
- ◆ 実施場所 川越市立大東中学校周辺
- ◆ 活動内容 古紙集団回収
- ◆ 活動結果 回収量 約12 t（段ボール・新聞・雑誌・布・ミルクパック・アルミ缶）
- ◆ コメント リサイクル活動の一環として生徒達や保護者の方が集めた古紙を回収しました



- ◆ 実施日 2022年6月から8月にかけて
- ◆ 実施場所 ふじみ野営業所事務所
- ◆ 活動内容 家で余ったお菓子や食材を第一生命主導で子供食堂に提供した
- ◆ 活動結果 開始から通い箱に5回以上、引き取りに来てもらった
- ◆ コメント 子供達の為に食材を提供でき、SDG s の活動の一環にもなった



第一生命グループ
第一生命
The Dai-ichi Life Group

フードドライブにご協力ください!!
～ご家庭で残っている食品をお持ちください～

＜フードドライブとは＞
皆さまのご家庭や職場で余った食品類を持ち帰っていただき、取りまわして食料支援をおこなわれる方へお預りする活動です。

第一生命がご提供いただいた食材を地域の子ども食堂に届けさせていただきます

おきさま → 第一生命 → 子ども食堂

ご提供いただきたい食材の例
レトルト・インスタント食品、缶詰、調味料、お米、お菓子、乾麺類等

下記のものはご提供いただけませんのでご注意ください
・調味料が1か月未満のもの ・みりんや料理酒以外のアルコール類 ・生鮮食品
・賞味期限切れ ・開封済みのもの 等

- ◆ 該当営業所 和光営業所
- ◆ 実施日 2022年11月19日（土曜日） 午前10時 ～ 11時ごろ
- ◆ 実施場所 和光市立新倉小学校
- ◆ 活動内容 自治会の集団回収で集めた古紙を収集する
- ◆ 活動結果 回収量：1,510kg（段ボール）
- ◆ コメント 集団回収に協力することで地域の方とコミュニケーションが取れ、古紙収集及びリサイクルへの理解度を深められました。



- ◆ 該当営業所 北多摩営業所
- ◆ 実施日 2022年7月6日（水曜日）
- ◆ 実施場所 北多摩営業所 場内
- ◆ 活動内容 調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会の営業所見学
- ◆ 活動結果 市民へのリサイクル活動の啓発につながる
- ◆ コメント 資源の有効利用により、未来の地域を守る大切な仕事と思う

（調布市ごみ対策課様の報告書より＜内容抜粋＞）

令和4年度 第2回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会 施設見学会開催報告書

むさし野紙業株式会社
北多摩営業所

（施設概要）

市が回収した古紙や民間回収の古紙を受け入れ、選別後バール（俵状）にして製紙会社に卸す施設。



【施設見学】

佐々木委員による施設説明および質疑応答

- ・スーパーや事業所、各家庭から回収業者から運ばれた古紙類は、入口の台貫（トラックスケール）に載せられ計量される。
- ・搬入された古紙は、種類ごとに場所を変えて降ろしてもらい、伝票発行。市の回収の場合は、古紙の種類ごとに台貫で計量してもらうので、新聞、段ボール、雑誌などが何kgずつ搬入されたかが分かる。
- ・古紙の種類はとても多いが、北多摩営業所では、段ボール、新聞、雑誌、シュレツダー、牛乳パック、古布、機密書類の取り扱いを行っている。むさしの紙業は8つの営業所があるが、場所によって搬入される古紙の種類に特徴がある。
- ・荷下ろしされた古紙は、縛った紐や禁忌品などリサイクルできないものを作業員の手選別により仕分けしている。
- ・普段、1日60～70トンの古紙の搬入があるが、年末年始はヤードが一般廃棄物になるくらい搬入量が多くなる。
- ・選別残さは毎週300kg程度、年間で15トンもの重量となる。不燃物などはもちろん再生できないが、アルバムに貼られた写真なども再生対象外となる。
- ・紙おむつを（古紙は無料だから）出される例もある。仮に紙おむつが混ざると、製紙メーカーから返品となってしまう。
- ・昨今問題になっているのは昇華転写紙という、バッグや靴の詰め物用やアイロンプリントに使われる紙で、古紙を溶かし再生して熱を加え乾かすときに模様が浮き出てしまう。

- ・点字用の紙では、凹凸を出すのに熱を加えるものと、圧力を加えるものの2種類がある。圧力を加えて凹凸を出すものはリサイクルできるが、熱を加えて凹凸を出すものはリサイクルできない。しかし、2種類は製紙メーカーでも区別がつかないので、すべて搬入しないよう言われている。
- ・古紙に関しては、紛らわしいものは入れない、というのが原則である。配布した「雑がみとは」「受け入れできない紙の種類」の資料も参照して欲しい。非常に細かいが、どうやったら排出者に分かってもらうかが課題。
- ・事業者によっては難処理古紙のみを集めてリサイクルする技術を導入しているところもあるが、ある程度量が集まらないと採算が合わない。
- ・多摩市では、段ボール・雑誌・新聞の日に分別が悪いものが出されていると警告シールを貼り収集していない。また、国分寺市の古紙は分別が良く、選別せずに直送できる。品質の良いものは高い価格で卸すことができる。
- ・(質問) 調布市の場合、多少分別品質が悪くても持って行っていると、市民もそれに甘えてしまうのではないかと。
→問屋が受入をしない、という訳にはいかないので分別収集段階も含めて考えなければならない。なお、古紙を収集運搬する段階で新聞と雑誌が混ざってしまう場合もある。
- ・古紙収集日はひっきりなしに古紙が搬入されるので、丁寧に選別するスペースを取るのが難しい。粗選別し、あとで選別し直して再ペールすることもある。
- ・製紙メーカーに出せない禁忌品や残さは固めてRPFとしているが費用がかかる。
- ・機密保持を要する古紙を受け入れるため、古紙再商品化適格事業所の認定を受け、古紙リサイクルアドバイザーの資格を持つ従業員が取り扱っている。

(資料) むさし野紙業株式会社にて作成した「リサイクルできない紙」の説明資料

受入出来ません

「水に溶けない紙」・「汚れや匂い、油などが付いている紙」
「熱に反応を示す紙(擦って黒くなる紙)」・「軽い手力で破れない紙」

紙製品を再生リサイクルする時、その紙を一度、水に溶かして繊維状にし、その後、成型して様々な紙を作ります。
<イメージとして和紙を漉くのと基本的には同じ方法です>
ですので、「水に溶けない紙」や「汚れや匂い、油などが付いていて水そのものを汚してしまう紙」は、再生リサイクルに向いておりません。また、水に溶かした紙繊維を成型した後熱を当てて乾燥させます。その時に「熱に反応を示す紙」が混ざると不良品となってしまいますので、この種類の紙も向きとなります。

～～～ 代表的なダメな種類の紙としては ～～～

<p>粉系洗剤の箱 線香の箱など アロマの箱など</p> <p>匂いのついた紙</p>	<p>ピザの入れ物 カップ類の容器や蓋 使用済み紙コップや紙皿 未洗浄のバック飲料容器 汚れのある紙</p>
<p>写真 アルバム ネガ プリントインクが付いた紙</p>	<p>金・銀などが箔押しされた紙 多重構造の袋類 タバコの箱</p> <p>水に溶けない紙類</p>
<p>昇華転写紙</p> <p>バックや靴の詰め物用の紙 梱包時の緩衝材用の紙 紙が薄く色付きの紙は要注意</p>	<p>宅配用複写伝票(カーボン紙) シール本体 シールの台紙(剥離紙) 圧着はがき 過度な糊付き・ビニール加工紙</p>
<p>感熱シート アイロンプリント用紙 感熱発泡紙(点字)</p> <p>熱に反応する紙</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">商 関 組 束</p> </div> <p>半紙・和紙 インクや墨付きの紙 付箋(透色の紙) 繊維まで着色されて しまっている紙</p>

＊ その他の紙につきましてはお問い合わせ願います。

＊ リサイクル可能な紙は、種類事に分別をお願いします。

[見学写真]



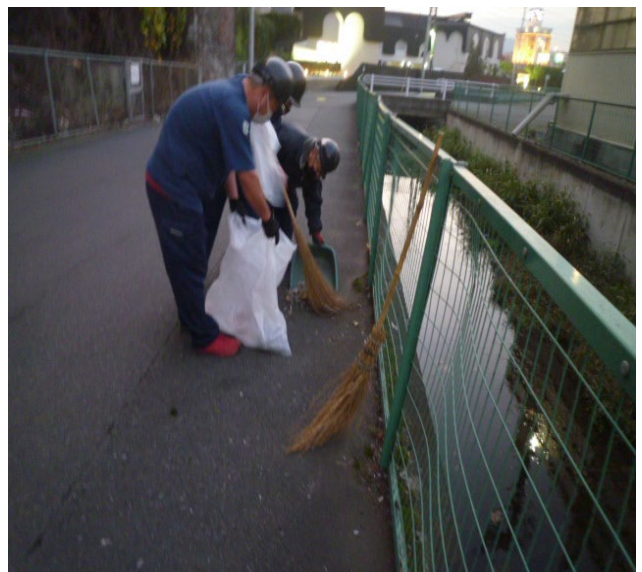
- ◆ 該当営業所 西多摩営業所
- ◆ 実施日 2023年3月2日（日曜日） 午前9時30分 ～ 10時10分ごろ
- ◆ 実施場所 田ノ上第三町内会（東京都羽村市）
- ◆ 活動内容 自治会の集団回収で集めた古紙を収集する
- ◆ 活動結果 回収量：段ボール200kg、新聞1,010kg、雑誌類230kg 計1,440kg
- ◆ コメント 毎年3・6・9・12月の第2日曜に実施している集団回収です。
長年、当営業所がお手伝いをしております。



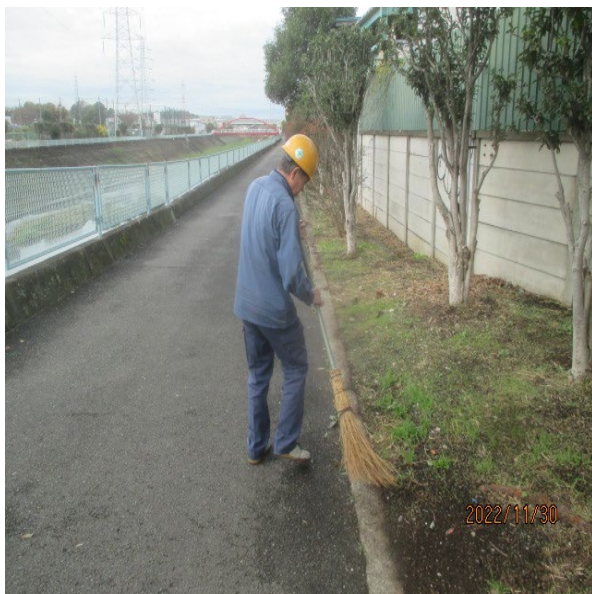
- ◆ 該当営業所 新木場営業所
- ◆ 実施日 2022年11月11日（金曜日） <定期的に実施中>
- ◆ 実施場所 営業所近隣の歩道、車道脇
- ◆ 活動内容 清掃活動
- ◆ 活動結果 ごみの回収量：45L袋で3分の1位
- ◆ コメント 空き缶、ペットボトル、弁当のゴミ袋、タバコの吸殻などを会社前でも捨てる人がいるので少しでも綺麗にしていれば減るかと思いはじめました



- ◆ 該当営業所 厚木営業所
- ◆ 実施日 2022年11月17日（木曜日）
- ◆ 実施場所 営業所周辺道路
- ◆ 活動内容 清掃活動
- ◆ 活動結果 ごみの回収量：45L袋で1袋（ペットボトル・缶・弁当容器 など）
- ◆ コメント 周辺道路には人目が無い為、ゴミを捨てていく人が多い



- ◆ 該当営業所 横浜営業所
- ◆ 実施日 2022年11月30日（水曜日）
- ◆ 実施場所 営業所裏側河川敷道路
- ◆ 活動内容 地域の清掃活動
- ◆ 活動結果 90Lの1袋分の落ち葉など
- ◆ コメント ゴミは落ちていないが、この時期は落ち葉が多い



- ◆ 該当先 本社
- ◆ 実施日 2023年2月28日（火曜日）
- ◆ 実施場所 本社
- ◆ 活動内容 フードバンク埼玉への寄付
- ◆ 活動結果 寄付内容＜食品：8.65kg・飲料：15kg・大人用おむつ：6袋＞
- ◆ コメント 従業員からの寄付や会社への受贈品を寄付
次年度以降も継続していきたい

受領書

〒 350-0804
埼玉県川越市下町下倉分 404番地1
有限会社 龍興 様

以下の物品を受領いたしました。

記

品名	数量	重量 (kg)
食品		8.65
飲料		15.00
オムツ	6袋	
総重量		23.65 kg

2023年2月28日

団体名 特定非営利活動法人 フードバンク埼玉
受領者氏名 代表理事 豊島 亮介
(電話：048-832-0115 FAX：048-833-8746)



環境コミュニケーション記録

事業者が環境への取組状況等を公表する環境コミュニケーションは、社会のニーズであるとともに、自らの環境活動を推進し、さらには社会からの信頼を得るための必要不可欠の要素となっています。そこで、環境活動レポートの作成と公表を必須の要素として規定しています。

【内部コミュニケーション】

内部環境情報は、環境管理責任者が社内通達にて実施する。

定期的に各責任者から営業所の状況報告を実施し、その内容を記録する。また各営業所内では責任者が所員へのフィードバックを実施し、環境に対しての意識向上や必要な改善を行う。

【外部コミュニケーション】

各責任者は外部の利害関係者、団体、地域住民より環境に関する苦情、要望等があった場合、直ちに受け付けるとともに迅速な対応処置を行った上、丁寧な説明を行う。

また、苦情、要望等の内容については社内報告を実施し、環境コミュニケーション記録に記入する。

【2022年度 環境コミュニケーション記録について】

今年度は、苦情・要望などありませんでした。

浄化槽点検検査記録(本社・川越営業所)

保守点検・汲み取り作業者 : 加藤商事株式会社 (登録番号: 第2-0114号)

浄化槽維持管理(保守点検)実施日 : 2022年6月15日 (結果: 正常)

2022年9月8日 (結果: 正常)

2022年12月15日 (結果: 正常)

2023年3月8日 (結果: 正常)

浄化槽清掃(汲取り)実施日 : 2022年9月29日 (結果: 正常)

<今年度より年2回作業実施へ変更> 2023年2月14日 (結果: 正常)

整理番号(問い合わせ番号) 107149 (B8840)

指定検査機関 一般社団法人 埼玉県環境検査センター



浄化槽法第11条検査結果書

令和 4年 9月 6日 に実施しました検査結果についてご報告いたします。 検査員 新倉 宏幸

1. 判定

イ. 適正 おおむね適正 ハ. 不適正

2. 所見 判定の理由については、以下の通りです。

B O D (生物化学的酸素要求量)	39 mg/ℓ	残留塩素	検出	透視度	14 度
-----------------------	---------	------	----	-----	------

※水質検査について
処理水の生物化学的酸素要求量(BOD)が、望ましい値(20mg/ℓ以下)を超過しています。

※外観検査について
コンセント差し込みが抜かれていたため、ばっ気が停止していました。
(改善済み)

※書類検査について
改善及び注意が必要な事項はありません。

3. 施設概要 管轄行政 川越市

設置者	むさし野紙業(株)				
管理者	むさし野紙業(株)				
設置場所	川越市下広谷404-1 むさし野紙業(株) 本社・川越営業所				
設置年月日	年 月 日	使用開始年月日	年 月 日	処理性能	BOD 20 mg/ℓ
建物用途	作業所関係 工場		工事業種	工場生産新構造	
設計者	フジクリーン工業(株)	処理対象人員	7 人	実使用人員	24人
型式	LP-7	(計画流入汚水量)	1.40 m ³ /日	(実流入汚水量)	
処理方式	合併 嫌気ろ床接触ばっ気方式				
保守点検の実施者	(02-00114) 加藤商事(株)-川越-		清掃の実施者	加藤商事(株)	

浄化槽点検検査記録(ふじみ野営業所)

保守点検作業者 : 株式会社リビングストーン (登録番号: 第1-1041号)

浄化槽維持管理 (保守点検) 実施日 : 2022年7月11日 (結果: 正常)

2022年11月16日 (結果: 正常)


2023年3月1日 (結果: 正常)

汲み取り作業者 : 株式会社協和清掃運輸 (登録番号: 第6号)

浄化槽清掃 (汲取り) 実施日 : 2023年3月6日 (結果: 正常)

整理番号 (問い合わせ番号) 107150 (B8840)

指定検査機関 一般社団法人 埼玉県環境検査



浄化槽法第11条検査結果書

令和4年9月1日に実施しました検査結果についてご報告いたします。 検査員 吉田 周平

1. 判定 イ. 適正 ロ. おおむね適正 ハ. 不適正

2. 所見 判定の理由については、以下の通りです。

B O D (生物化学的酸素要求量)	5 mg/ℓ	残留塩素	検出	透視度	14 度
-----------------------	--------	------	----	-----	------

※水質検査について
水質検査の結果は上記の通りです。

※外観検査について
改善及び注意が必要な事項はありません。

※書類検査について
改善及び注意が必要な事項はありません。

3. 施設概要

管轄行政 ふじみ野市

設置者 管理者	むさし野紙業(株)				
設置場所	ふじみ野市亀久保1613-2 むさし野紙業(株) ふじみ野営業所				
設置年月日	年 月 日	使用開始年月日	年 月 日	処理性能	BOD 90 mg/ℓ
建物用途 放流先	作業所関係 工場		工業者 種類	工場生産新構造	
設計者 式	ベスト工業(株) SA-10	処理対象人員 (計画流入汚水量)	10 人	実使用人員 (実流入汚水量)	
処理方式	単独 分離接触ばっ気方式				
保守点検 の実施者	(01-01041) (株)リビングストーン		清 掃 の 実 施 者	(株)協和清掃運輸	

フロン排出抑制法に基づく点検記録

フロン類漏洩等簡易点検対象先一覧						2022年度
設置場所	本社	川越 営業所	ふじみ野 営業所	横浜 営業所	和光 営業所	新木場 営業所
	業務部 2F	食堂 1F	事務所 1F	事務所 2F	旧営業部 2F	事務所 1F
メーカー	ダイキン 工業	ダイキン 工業	東芝 キャリア	ダイキン 工業	ダイキン 工業	東芝 キャリア
室外機型式	RZRP 140BC	RZRP 50BDV	ROA- AP635H	SVJ 50BT	RYP 112A	ROA -RP1403HSZ
圧縮機出力 (kw)	2.41×1機	0.92×1機	1.1×1機	1.5×1機	2.3×1機	3.21×1機
点検日 日付のみは 異常なし	2022/4/2	2022/4/5	2022/4/4	2022/4/4	2022/4/5	2022/4/4
	2022/6/2	2022/6/4	2022/6/7	2022/6/2	2022/6/1	2022/6/1
	2022/8/1	2022/8/9	2022/8/7	2022/8/1	2022/8/11	2022/8/1
	2022/10/3	2022/10/5	2022/10/7	2022/10/3	2022/10/3	2022/10/4
	2022/12/1	2022/12/3	2022/12/1	2022/12/1	2022/12/2	2022/12/2
	2023/2/1	2023/2/5	2023/2/1	2023/2/1	2023/2/4	2023/2/1

- 点検の結果、全社にて異常はありませんでした

産業廃棄物契約書先 実地確認対応状況一覧

該当先	契約先企業名	処 分 許可番号	許 可 開 始	許 可 終 了	事業所 区 分	確 認 実施日
川越	日本ウエスト関東(株) (旧：川越テック(株))	10320144308	R2. 9. 7	R9. 9. 4	優 良	2022. 11. 28
川越	日栄興産(株)	1120004615	R3. 12. 17	R10. 11. 4	優 良	2022. 11. 23
川越	リバー(株)	01120034488	R3. 7. 1	R9. 7. 15	優 良	2022. 11. 23
川越	青南建設(株)	1320001227	R3. 4. 12	R8. 4. 11	***	2022. 11. 23
川越	北幡興業(株)	01120000368	R4. 12. 1	R11. 9. 8	優 良	2022. 11. 28
ふじみ野	(株)エス・イーティ	1120006349	R2. 7. 1	R9. 6. 12	優 良	2022. 11. 18
横浜	(株)キタジマ	5620018385	R1. 5. 1	R8. 4. 30	優 良	2022. 11. 3
西多摩	比留間運送(株)	1320016103	R3. 12. 20	R10. 12. 19	***	2022. 11. 22
西多摩	J&T 環境(株)	5320004313	H30. 4. 1	R7. 3. 31	優 良	2022. 11. 15
西多摩	群桐エコロ(株)	1020158797 1070158797	H30. 6. 19	R7. 6. 18	優 良	2022. 11. 15
北多摩	(株)調布清掃	1320024029	R5. 4. 26	R10. 4. 25	***	2022. 11. 14
厚木	中央カンセー(株)	1422009851	H30. 4. 10	R7. 4. 9	優 良	2022. 11. 17
厚木	都市環境サービス(株)	1422008467	R2. 7. 29	R7. 6. 4	***	2022. 11. 18
和光	大友運輸(株)	1320036630	R1. 11. 5	R6. 11. 4	***	2022. 11. 16
新木場	東京ボード工業(株)	1320012468	H30. 6. 14	R7. 6. 13	優 良	2022. 11. 25
新木場	有明興業(株)	1320022693	H28. 10. 28	R5. 10. 27	優 良	2022. 11. 25
川越 新木場 厚木	(株)エコネコル	2221041547	H28. 9. 30	R5. 9. 29	優 良	2022. 11. 2

【確認方法】

事業所区分 「優 良」 : 「企業先HP」並びに「産廃情報ネット - さんばいくん」にて確認
 事業所区分 「***」 : 現地にて直接確認

埼玉県SDGsパートナー登録



埼玉県

ONE TEAM SAITAMA

SDGsパートナー

登録証

埼玉県SDGsパートナーとして登録し、ここに証します。

登録事業者： むさし野紙業株式会社

登録番号： 第478号

登録期間： 令和4年3月31日から 令和7年3月30日まで

埼玉県知事 大野元裕



SDGs未来都市

埼玉県



SAITAMA Pref.
ONE TEAM SAITAMA
SDGs PARTNER

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年12月25日

住所 埼玉県川越市大字下広谷404番地1

県内企業等の名称 むさし野紙業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 安立 博信

弊社は、SDGsの内容を理解しSDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

当社の企業理念である「私たちは地域社会に密着し、環境に優しい循環型リサイクル事業を通じて広く社会に貢献し社員の幸せと会社の繁栄を目指します。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	<p>エコアクション 21 の取り組みの基づき、地球温暖化防止の為に二酸化炭素排出量削減に努める</p> <p><2020 年度 二酸化炭素排出量> ・埼玉県内のみ:534 t-co2 [全事業所:1,347 t-co2]</p>	<p><2030 年に向けた指標> 10%削減 (二酸化炭素排出量 : 480 t-co2 [1,212 t-co2])</p> <p><取組開始3年後に向けた指標> 3%削減 (二酸化炭素排出量 : 518 t-co2 [1,307t-co2])</p>
社会	<p>多様な働き方を推奨し、女性の雇用率を増やす</p> <p><2020 年度 女性従業員割合> ・埼玉県内のみ:15%(7人/46人) [全事業所:11%]</p>	<p><2030 年に向けた指標> ・女性従業員割合:18% [20%]</p> <p><取組開始3年後に向けた指標> ・女性従業員割合:16% [15%]</p>
経済	<p>循環型の古紙リサイクル業界に於いて、製紙原料の仕入・選別・圧縮・梱包及び販売の取扱量拡大を図る</p> <p><2020 年度 取扱実績> ・埼玉県内のみ:61,027t [全営業所:135,218 t]</p>	<p><2030 年に向けた指標> 10%増加 (取扱量 : 67,410t [149,365t])</p> <p><取組開始3年後に向けた指標> 3%増加 (取扱量 : 62,876t [139,315t])</p>

「緑の募金」への参加

「緑の募金」は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき実施しています。森林整備、公共施設等の緑化、緑の少年団の育成等の緑化運動を推進し、緑に親しみ健全で豊かな心をはぐくむ環境づくりを進め、快適で住みよい緑豊かな郷土埼玉づくりに寄与することを目的としています。

埼玉県森林CO₂吸収量認証書

むさし野紙業株式会社
代表取締役 安立 博信 様

令和4年度に貴社が森林整備活動を行った森林のCO₂吸収量について、次のとおり認証します。

CO₂吸収量 2.6 t-CO₂/年

認証 の 対 象	森林の所在	飯能市大字南川字櫛生地内外
	森林の種類	24、25年生 ヒノキ林
	森林の面積	8.0ヘクタール [うち0.3ヘクタール相当]
認証内容の有効期間	認証書交付日から令和10年3月31日まで	
参 考 指 標	認証する吸収量は、人間の呼吸によるCO ₂ 年間排出量に換算すると、8人分に相当します。	

この認証書は、申請者の社会貢献活動の証として、埼玉県が認証した森林のCO₂吸収量として、広報活動等県が定めた用途に利用することができます。

(注) 代理人による申請の場合には、[] を適用する。

令和5年3月31日



埼玉県知事 大野 元裕



圧縮梱包機用コンベア侵入検知システムの導入

- * 設置営業所：ふじみ野営業所
- * 設置営業所：新木場営業所
- * メーカー：(株昭和)
- * メーカー：マイクロ・トーク・システムズ(株)
- * 導入日：2023年3月4日
- * 導入日：2023年1月21日

(仕様詳細はふじみ野営業所に設置しました、(株昭和製のシステムとなります)



導入目的

作業員のコンベヤ上への侵入を検知し、機械を非常停止させコンベヤから圧縮梱包機本体への落下事故を防止する事。

仕様

作業員には各自検出用IDタグを携帯して、コンベヤ上に取付けられたアンテナによりタグを検出し侵入検知用制御盤を経由しベアラ制御盤に非常停止信号を送ります。

使用するIDタグはセミアクティブ方式で電池を内蔵しており、アンテナの受信範囲に入るとタグ自体から電波を発信するタイプです。通常はタグから電波を出していないので電池寿命も長く、アンテナからの検出距離も5mと長く、また微弱な電波を使用していますので電波法の届出も不要で電波による人体への影響もありません。

タグの方向性も無いので検出確率が高く、小型化が可能になりました。

また、タグに個々のIDがありますので、個別認証が可能で、始業前に作業員様別に登録されたタグの確認作業を行わないとベアラの起動が出来ない、またはコンベヤ上で検出されたタグを制御盤上の確認用アンテナに当てないと再起動が出来ないなど、更に安全性を高める事が可能となりました。



屋根断熱塗装の実施

施工場所 : 本社・川越営業所 事務所棟

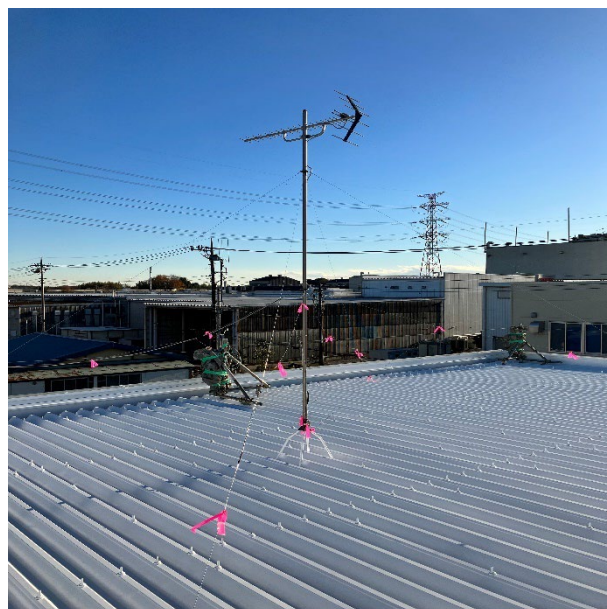
完了日 : 2022年12月20日

目的 : 室温上昇の抑制、エアコン効率の向上、事務所内の労働環境の改善

塗装前(1)



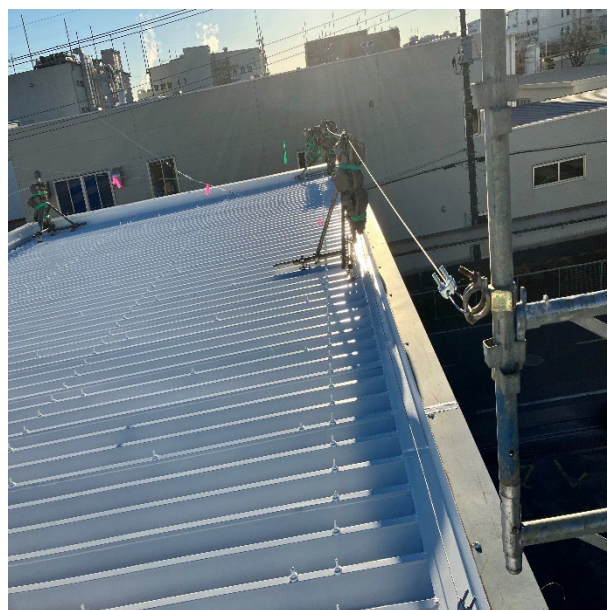
塗装後(1)



塗装前(2)



塗装後(2)



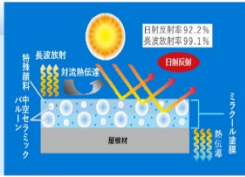
塗装による効果

MIRACOOL 国内外合わせて900万㎡以上の実績

遮熱塗料ミラクール

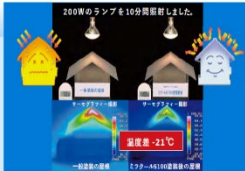
ミラクール 遮熱効果のメカニズム

- 中空セラミックバルーンと特殊顔料の相乗効果によって、太陽光を効果的に反射します。(特に近赤外線領域)
 - 温度上昇を防ぎます。
- 中空セラミックバルーンが塗膜の熱伝導率を低くします。
 - 室内への貫流熱を減らします。
- 中空セラミックバルーンが長波放射率を高めます。
 - 表面の熱を冷まします。



高い遮熱効果を発揮

ミラクールは太陽光に含まれる熱の元となる近赤外線を効果的に反射しますので、建物の屋根・外壁等が太陽光によって高温化するのを防ぎます。保って建物内部の室温上昇を防いだり、冷房負荷を削減することができます。

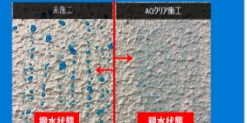


MIRACOOL 国内外合わせて900万㎡以上の実績

ミラクールAQクリア 汚れ防止 超速親水化剤

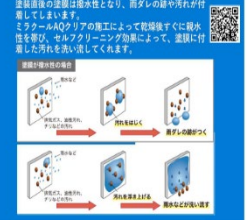
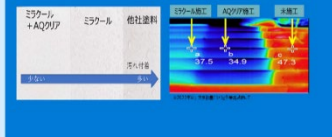
ミラクールAQクリアの超速親水化効果によるセルフクリーニング機能により、**耐汚染性が高いミラクール製品が更に汚れづらくなります。**ミラクールAQクリアが形成した後は、すぐに塗膜が親水空を呼び込むため、雨が塗膜に馴染み、塗膜に付着した汚れを洗い流してくれます。また、遮熱塗料は汚れると性能が落ちてしまうため、**遮熱機能を長期的に持続させるためにも非常に効果的**です。また、汚れが付着しづらいので**美観性の維持**にも効果があります。

AQクリア親水性効果の比較



AQクリアによる遮熱効果の持続性

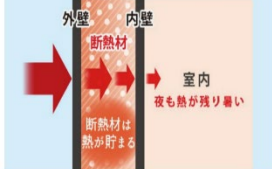
同じ金属屋根にミラクール、ミラクール+AQクリアとA社塗料の耐汚染性、遮熱効果の持続性を検証しました。A社塗料、ミラクール、ミラクール+AQクリアの順で耐汚染性の高さが確認されました。



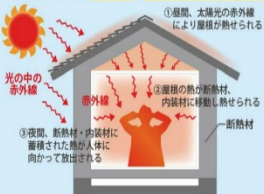
断熱について①

断熱材の役割

断熱材は、「熱を止める物」ではなく、「熱の伝わりを遅くする物」です。



断熱材があっても暑い理由は熱の75%を占める輻射熱

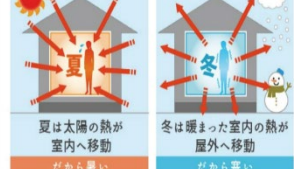


断熱材と聞くと「熱を止める物」と思われる方が多いですが、正確には断熱材は熱を止めるのではなく「熱の伝わりを遅くする物」になります。断熱材はたくさんの空気が含まれた素材からなる物で、その空気が熱の伝わりを遅くさせます。つまり少しづつ熱が断熱材の中に浸透していきますので断熱材は熱を貯め込んでいきます。この断熱材に貯め込まれた熱が夜間、建屋の中に放出され暑くなるので、翌朝、暑い状態で1日がスタートする事となります。

断熱について②

熱移動の原則

温度の高い方から低い方へ移動



3つの熱移動



熱の伝わり、つまり「熱の移動」には原則があり温度の高い方から低い方へ移動します。夏の夜、屋外は夜風が吹いて涼しいのに室内が暑い理由は、日中屋根や壁が太陽に熱せられ、夜になりその貯め込んだ熱を室内に向けて放出するからです。夏の夜、屋外が涼しい理由は、夜は放射冷却現象により宇宙に向かって地球の熱が放出されるため涼しくなります。室内の天井に断熱材がない状態は、上記の効果が期待できます。※冬に室内の温度を逃がさない様にするには断熱が有効となります。(曇りの夜は放射冷却現象が発生しない。)

本社・川越営業所の事務所棟は「緑のカーテン」も実施しています



代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の確認・評価

実施日：2023. 6. 1

事項	報告内容	代表者の評価
環境経営目標の達成状況	二酸化炭素排出量・購入電力量・ガソリン使用量・軽油使用量・LPG（事務所）使用量・水道使用量について、2021年度実績より削減。 2021年度に軽油より環境負荷が少ない、GTL燃料に各営業所にて順次切替。2022年度は全営業所でGTLを使用した為、2021年度より使用量が増加。	削減出来た項目については次年度も継続を目指してもらいたい 事業活動をするうえで環境負荷軽減は必須であるため、経費が掛かるが対応を継続してもらいたい
環境経営計画の実施及び運用結果	全従業員が方針及び目標を理解し、前向きに取り組んできている。	継続的に方針や目標を周知したうえで全社一丸となり継続してもらいたい
環境関連法規などの遵守状況	浄化槽法（11条検査結果）に基づき、本社・川越営業所にて追加汲み取り作業を実施し、以降は年2回の作業実施に契約内容を変更。 廃棄物管理法（保管場所標識設置など）について内部監査時に再確認	自社業務に関連する法規について内容確認並びに遵守状況の確認を継続してもらいたい
外部からの苦情や要望	無し	営業所近隣の方との友好関係は事業活動維持に於いても必須の為、理解を得られる対策など事前実施してもらいたい
その他	全営業所にて地域貢献活動、緊急事態（火災）対応訓練を実施	地域貢献活動及び火災対応訓練は継続実施してもらいたい

代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更要否	指示事項等
1. 環境方針	変更無し	現状継続
2. 環境目標	変更無し	現状継続
3. 環境活動	変更無し	現状継続
4. 実施体制	変更無し	現状継続

総括

2022年度も新型コロナウイルスの影響で古紙業界は減産や在庫過多になり未だ活気に満ちているとはいえない状況ではありましたが、当社は前年度比で売上高116%、取扱量104%となり環境経営方針でもある事業拡大が達成されました。また、二酸化炭素排出量については2021年実績値より97.64%となりましたが、環境活動に伴う経費が取扱量の増加や物価高騰等の影響もあり増加となりました。経費削減は環境負荷軽減にも繋がり、事業活動維持の観点からも重要であることから引き続き注力していきます。

主な実施策として引き続き圧縮梱包機を省エネタイプ製品へ更新、新型の電力受電設備本体へ更新、蛍光灯照明からLED照明へ更新、新型低燃費の車両や重機へ更新及びバッテリー電源重機の導入等を計画しています。また、古紙回収は環境負荷が発生してしまう事業活動ではありますが、当社の古紙回収による二酸化炭素排出量軽減効果は非常に大きな値を示しております。その他として緑の募金に参加し「森林0.3ヘクタール相当、年間2.6 tの二酸化炭素吸収量」に貢献することができました。

次年度も従業員の安全を第一に考え、引き続き環境への影響と安定的な経営及び取扱量の増量を目指し、二酸化炭素排出量の削減・廃棄物量の削減・水道使用量の削減・会社経費削減を念頭に置いた環境経営活動をして参ります。

以上

代表取締役 **安立博信**